



虎高PTA通信

第144号

平成31年1月31日発行

印刷／谷口印刷株式会社

高虎高PTA通信

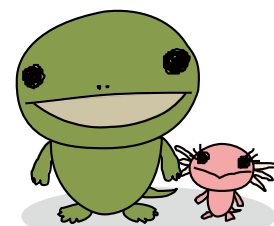
2018年度 秋冬号
第144号

発行／滋賀県立虎姫高等学校PTA／〒529-0012 滋賀県長浜市宮部町241-0／TEL 0749-1731605／http://www.torahime-h.shiga-ed.jp

編集後記

平成30年度のPTA通信は、「子どもたちの姿を届けたい」と、たくさんの写真を掲載しました。子どもたちの真剣な表情や笑顔からは、充実した高校生活が伝わってきます。広報委員の活動からは、子どもたちや先生方の思いに触れることができ、とてもよい経験になりました。皆さんありがとうございました。

このような虎姫高校の良さを伝えるPTA通信が、今後もずっと続いていくことを願っています。
(広報 村崎)



▲トラマンダーとカスミちゃん



部活動紹介

全国大会出場

ESS

間塚 美友

10月28日に開催された、第11回滋賀県高校生英語ディベート大会で見事、優勝を勝ち取ることができました。私たちの努力だけではなく、たくさんの方に支えていただいた結果です。

12月15日・16日に開催された全国大会では、上位を目指して私たちの全力を出し切ることができました。応援に来ていただいた保護者の方々、ありがとうございました。



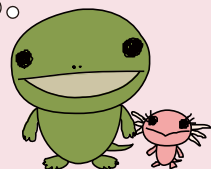
新聞部

中尾 真奈

今回の大会で優秀賞を受賞し、来年の「さが総文」への出場が決定しました。私たちの新聞がこのように評価されてとても嬉しいです。またこの結果は虎高生や先生方、地域の方のご協力のおかげだと思っています。今後は、より多くの虎高生が紙面に載り、たくさんの方に興味をもって読んでもらえるような新聞を作っていきたいです。



どの部活動も頑張ったね!



科学探究部

丸山 孝浩

今回の秋季大会で、自分たちの研究を来年の全国大会で発表することが決まりました。このことは、大変光栄に思います。しかし、他校の研究も非常に興味深いものがありました。だから、自分たちが県代表として全国大会で発表したことが良かったと思われるように、これからも科学を探究していきたいと思います。



ソフトテニス部女子

宮村 萌

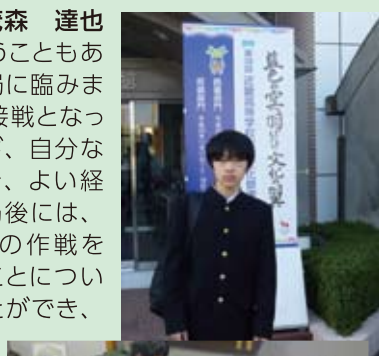
今回の秋季大会では個人戦で2ペアがベスト16に入ることができました。このような成績を収めることができたのはチームメイトや先生、家族の応援があったからだと思います。今回見つかった課題を少しでも改善するため日々の練習を頑張ります。近畿大会では、1つでも多く勝ち上がれるようにチーム一丸となって挑みます。



囲碁・将棋部

茂森 達也

初の近畿大会ということもあり、大変緊張して対局に臨みました。一進一退の大接戦となった対局もありましたが、自分なりに楽しむことができ、よい経験となりました。対局後には、対戦相手と、お互いの作戦をはじめ、いろいろなことについて話す機会を持つことができ、知らない手や戦法を知ることができました。大変収穫の多い大会となりました。



水泳部

中村 梨花

今シーズンの大会を通して、私たちは、個人でも団体としてもたくさんの良い結果を残すことができました。昨年よりも日々の練習に一生懸命励むことができ、個々での練習にも前向きに取り組むことができています。来年の春季総体では、それまでの成果を生かし、良い結果につなげられるように頑張りたいと思います。



陸上部

西濱 智宏

今回の秋季大会で、多くの種目で県一番など良い結果を残すことができました。自分たちの日ごろの練習の成果が出せたということもありますが、多くの方々に支えていただき、温かい声援をいただいたことがこの結果につながっていると感じています。この冬をチーム全員で乗り越えて来年の春に今回以上の結果を必ず残したいと思います。



アーチェリー部

松田 光輝

今回の団体戦2位という結果は今まで努力してきたことの表れだと思います。新体制になってからチームとしてなかなかまとまらず、苦労していましたが、紆余曲折を経て、今では最高のチームに成長したと感じています。次の目標である全国大会出場に向け、日々努力を怠らないようにしたいです。



平成30年度 秋季総体・高総文祭 結果

剣道部

男子 1回戦 虎姫0-4彦根東
2回戦 虎姫3-1八幡商業
3回戦 虎姫1-3米原
(ベスト8)

野球部

2回戦 虎姫1-13近江

アーチェリー部

男子団体 (2年早藤・北川・松田・山崎) 2位

水泳部

2-1 草野 来実 50m 自由形 6位
2-3 中村 恵瑠 50m バタフライ 8位
2-4 川上 日和 50m 平泳ぎ 5位
2-6 上村 輝 50m 平泳ぎ 4位
2-6 中村 梨花 100m 自由形 4位
1-4 山下 采花 100m 平泳ぎ 6位
1-6 野村 幸花 50m 背泳ぎ 5位
女子 4×100m 7位
女子 4×100m 6位
以上、近畿新人大会出場
(10月6、7日 奈良)

卓球部

男子団体 2回戦 虎姫1-3東大津
女子団体 1回戦 虎姫3-0彦根工業
2回戦 虎姫0-3安曇川

サッカー部

2回戦 虎姫0-6水口

男子ソフトテニス部

団体戦 1回戦 虎姫2-1水口
2回戦 虎姫0-3瀬田工業
(ベスト16)
個人戦 脇阪・千田ペア (ベスト32)

女子ソフトテニス部

団体戦 1回戦 虎姫2-1玉川
2回戦 虎姫2-1膳所
3回戦 虎姫1-2甲西
(ベスト8)

男子バスケットボール部

1回戦 虎姫94-47 愛知
2回戦 虎姫71-108彦根翔西館

女子バスケットボール部

2回戦 虎姫44-45比叡山

男子バレーボール部

予選リーグ 虎姫0-2近江
虎姫1-2彦根総合

女子バレーボール部

予選リーグ 虎姫0-2膳所
虎姫2-1八日市
決勝トーナメント 虎姫0-2堅田・北大津

男子バドミントン部

2回戦 虎姫0-5八日市

女子バドミントン部

1回戦 虎姫1-4能登川

陸上部

男子100m 1-2 廣畑 敬太 1位
男子走幅跳 1-1 北川 侑樹 6位
女子走高跳 2-4 野古溪彩花 5位
2-3 藤井 ゆう 7位

囲碁・将棋部

【男子個人戦I部】
決勝リーグ進出 2-3 茂森 達也
2-3 日比野剣斗
1-3 松井 晴彦

【男子団体】 予選敗退
近畿高文祭将棋部門
男子個人A級 茂森 達也 出場
徳島県徳島市11/17(土)~18(日)

演劇部

大会参加のみ

吹奏楽部

県高文祭演奏
「春の道を歩こう」・「銀河鉄道999」

ESS

滋賀大会優勝
ベストディベーター賞
三家 雄志(1位)・間塚 美友(4位)
12月15日・16日に福井県で開催の
全国高校生英語ディベート大会に出場

科学探究部

滋賀県科学教育研究会会長賞
平成31年度第43回全国高等学校総合文化祭
佐賀大会 自然科学部門に出場決定

新聞部

第42回滋賀県高等学校学校新聞コンテスト
優秀賞・教育長賞
平成31年度第43回全国高等学校総合文化祭
佐賀大会 新聞部門に出場決定

美術部

県総合文化祭 美術・工芸部門
油絵その他出展(1,2年生全員)



7月9日(月) スポーツの部

	第1位	第2位	第3位
クラス対抗リレー	3年6組	2年5組	2年4組
大縄跳び	3年2組	3年6組・1年5組	
クラスパフォーマンス	3年1組・3年3組		3年2組
スポーツの部総合	3年1組	3年6組	3年2組



7月3日(火)・7月4日(水) クリエイティブの部

	最優秀賞	優秀賞
1年音楽フェスタ	1年4組	1年1組
2年模擬店の部	2年3組	
3年クラス企画の部	2年5組	
3年クラス演劇	3年6組	3年3組



1年生

第17回 ようこそ先輩

■9月15日(土) 虎姫高等学校体育館

9月15日(土)に土曜講座として、本校卒業の3人の先輩方を迎え『ようこそ先輩』を実施しました。大橋PTA会長の司会・進行のもと、3人の先輩方と3人の生徒代表によるパネルディスカッション、フロアの生徒からの質疑応答など、充実した時間を過ごすことができました。

パネリスト



宮崎 成実氏
(59回卒)

滋賀医科大 麻酔科医



一居 修弥氏
(60回卒)

株式会社プロクルー
ロボティクス事業部



若山 隼佑氏
(61回卒)

株式会社ワンキャリア
コンサルティングセールス
事業部マネージャー



コーディネーター
PTA会長
大橋 延行 氏

～印象に残った言葉集～

- 自分にとって残された時間を考え、時間を逆算する。
- 自分のことを見てくれる大人は絶対1人はいる。
- 3年や5年のサイクルで急激に社会は変化する。
- LINEは連絡手段であり、コミュニケーションではない。
- 恐怖と戦う。これから先は大海原。

以下、生徒の感想

- 収入や安定している職業かどうか考えるのも大事だけど、もっと自分が本当にやりたいことを考えないといけないなと思いました。
- 文理に分かれると、できる仕事に限られると思っていたのですが、意外と人って何にでもなれるのだと分かりました。
- 今、人生で一番重要な選択の時期とか言われて、すごく苦しく毎日不安に過ごしていたけれど、転職などの話を聞いて、悩んだり壁にぶつかるのは大人になってからもあるんだと思い、別に今苦しいのも悪いことではないのかもしないかと思いました。

2018 東大・東工大・慶應大連携講座



平成30年12月10日(月)～11日(火)、1泊2日の日程で、東大・東工大・慶應大連携講座が開催されました。この連携講座は8年目ですが、今年度は東京大学・東京工業大学・慶應義塾大学で講座やキャンパスツアーを行っていただきました。参加者は1年生(第73回生)の希望者18名(男子11名・女子7名)と、三上校長、第1学年主任の吉田教諭の総勢20名でした。今回の連携講座は、生徒たちにとって普段経験できない中身の濃い貴重な体験となったようです。今回の経験を活かし、志高く高校生活を有意義に送ってもらいたいと思います。

フィールドワーク

■11月16日(金)

1年生の「究理」の授業の後半では、自分たちの興味に応じて課題や疑問を設定し、地域を取材・調査・報告する活動をしなが、身近な自然科学や社会科学の諸問題を様々な角度からみてみようという取り組みを行っています。3月の発表に向け、まずは校外に出て生きた情報を集めにいきました。



▲滋賀県教育委員会



▲滋賀県民生活部県民活動課



▲滋賀県民生活部
県民活動課



▲京都府庁



▲原子力の科学館「あっとほうむ」



▲長浜バイオ大学

京都大学防災研究所
▼耐震構造研究分野



〈生徒のテーマ(一部抜粋)〉

- 性的マイノリティが住みよい社会をつくるには
- 全国学力調査について～なぜ滋賀県の学力は低い?～
- ロボットと生きる現代社会
～人間の雇用を守りつつ、ロボットで産業を発達させるには～
- 東京オリンピックの収益金は開催費を超えることができるのか
- 外国人観光客受け入れの問題～コミュニケーションの壁～
- 沖島の食害について～イノシシによる食害はなぜ深刻になったのか～
- 殺処分される動物の命を守るためには
- マイクロプラスチックは琵琶湖にどのような影響を及ぼすのか

3年生

第3学年では、1年生の時から行っている朝読書を継続しつつ、本年度は週3回の朝リスニングを実施しています。7月には2日間で20時間の夏季学習会を行い、多くの生徒が有意義な時間を過ごしました。また2学期は進路室に足を運び志望校の赤本を借りる生徒や、教室や職員室前の廊下で自習に励む生徒の姿が多く見られました。センター試験後は、1月特別講座・2月補習を行います。目標の進路に向かってラストスパート。本番で実力を発揮できるように最後まで頑張っています。

夏季学習会

実施日:7月21日、22日

センター直前演習

実施日:1月4日、5日

補習

	期 間
6月補習	6/4～12
夏季補習	7/23～8/10
9月補習	9/3～28
11月補習	11/1～20
1月特別講座	1/22～31
2月補習	2/1～22



修学旅行

2年生 ■ 12月16日(日)
～12月19日(水)

行程表

□12月16日(日)

6:45 虎姫高校出発
15:10～ グアム空港着

□12月17日(月)

午前 Southern HIGH SCHOOL
との交流
午後 タモン地区別研修
夕食後 学年レクリエーション

□12月18日(火)

終日 アルパインビーチクラブ
(自然体験学習)
夕食 ポリネシアンディナーショー

□12月19日(水)

午前 班別自由行動
16:10～ グアム空港発
22:45 虎姫高校着

学校交流

レクリエーション

ポリネシアンディナーショー

自然体験学習

タモン地区



2年生

サマーセミナー

滋賀大学連携講座

■〈文系分野〉7月26日(木)

講義 「トランプ大統領で世界恐慌は再び来るか？」
「地域と企業経営」 滋賀県の事例から
「これまでの働き方、これからの働き方」
「データ分析のススメ 今日から貴方もデータサイエンティスト」

坂田雅夫先生
弘中史子先生
山田和代先生
伊達平和先生



■〈データサイエンス分野〉8月20日(月)、21日(火)

1日目 野外調査「ドローンによる河川地形のデータ採集」
京都大学防災研究所 畑山満則先生
滋賀大学データサイエンス学部 和泉志津恵先生
2日目 講義と実習「河川地形モデルの作成」
京都大学防災研究所 畑山満則先生
滋賀大学データサイエンス学部 和泉志津恵先生



生徒の感想

○最初は「データサイエンス」の事を単なる「もの調べ」だと思っていたが、サマーセミナーに参加して、間違いだと分かった。「もの調べ」からその情報を「応用」することが「データサイエンス」だと思った。

滋賀県立大学連携講座

■〈文系分野〉7月26日(木)

講義 地域文化学科 「近江の城」
国際コミュニケーション 「フランス料理はどのようにして〈別格〉となったのか」
生活デザイン学科 「今、私たちがこういう服を着ている訳」
人間関係学科 「“学力”について考える」

中井 均先生
橋本周子先生
横田尚美先生
木村 裕先生



■〈物理分野〉8月21日(火)、22日(水)

1日目 講義と実験「内燃機関～エンジンのしくみ～」
工学部 山根浩二先生 他
2日目 講義と実験「環境問題とバイオディーゼル燃料」
工学部 河崎 澄先生 他

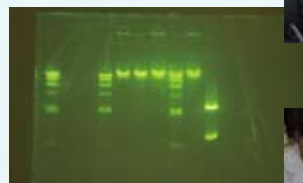


生徒の感想

○1日目の実験では、エンジンの仕組みや、世界最初の蒸気機関を作ってみました。前者は自分のとても知りたかったものの一つで、わかってよかった。後者も答えが分からない状況で、どうすれば上手に回すのかを考えるととても楽しく、頭を悩ませた。

■〈生物分野〉8月21日(火)、22日(水)

1日目 講義と実験「光る大腸菌の作成」
環境科学部 入江俊一先生 他
2日目 講義と実験「進化生態学入門講座」
環境科学部 高倉耕一先生 他



生徒の感想

○今回の講座で最も印象に残ったのは、大腸菌の形質転換を行ったことだ。肉眼では決して見ることもできない大腸菌を、様々な操作を経由して最終的に見る事ができたという事に、特に興味関心を抱いた。

■〈化学分野〉8月21日(火)、22日(水)

1日目 講義と実験「色ガラスの作製と光吸収スペクトル」
工学部 吉田 智先生 他
2日目 講義と実験「PETの性質」
工学部 竹下宏樹先生 他



生徒の感想

○ガラスやプラスチックは奥深いと思った。どちらも、生活にとって、必要なものなので、興味を持ち、改めて自分が何も感じずに生活していることが分かった。今回の講座や実験を機会に、物事に対してもっと考えたり、興味を持ったりしようと思った。

慶應義塾大学田根地区連携講座

■〈建築・環境デザイン分野〉7月28日(土)、29日(日)

1日目 講義「地域資源の利活用」
SFC政策・メディア研究科 小林博人先生
実習「ものづくりを通して考える古民家と環境の新しい関係」
高校生によるイノベティブな古民家改修
2日目 実習「ものづくりを通して考える古民家と環境の新しい関係」



生徒の感想

○密度の濃いプロジェクトの中に入ったなあという感じだった。実際に体験させてもらったことは、どれも初めてのことで、田舎に住んでいても経験したことがないようなことばかりだった。さらに慶應大学の学生さんたちは「こんな大学生になりたいな」と思わせてくれる人ばかりで、憧れや尊敬の気持ちを抱いた。

大阪大学大学院連携講座

■〈理系分野〉8月2日(木)、3日(金)

1日目 講義と探究実験「電気抵抗の温度依存性の測定」
全学教育推進機構 杉山清寛先生 他
2日目 レポート発表・研究施設見学
全学教育推進機構 杉山清寛先生 他



生徒の感想

○実験の前に教授から、「失敗なんてなくて、なぜその結果が出たのか、考察を考える事がいい」と言ってもらい、実験の本質に気づいた。Wheatstone BridgeやDMMなど使ったことのない器具を使うことができ、実験をしている中で、様々な事に興味を持つことができた。夜のレポート作りは、班員3人が協力してできて良かった。

滋賀医科大学連携講座

■〈医学分野〉8月22日(水)、23日(木)

1日目 講義「医師の使命と働きがい」 社会医学講座 埴田和史先生
講義「インフルエンザ」 病理学講座 伊藤 靖先生
講義と演習「がんからみた医学」 病理学講座 杉原洋行先生 他
2日目 講義と実験「血糖とインスリン」 生化学・分子生物学講座 小島秀人先生 他



生徒の感想

○この2日間は、たくさん話を聞くことができ、とても濃密なものとなった。医大生と話ができて楽しかった。(中略)医大生は、きびきびして賢い感じがあると思っていたが、それだけでなく、ユーモアがあってフレンドリーで雰囲気は柔らかい事が分かった。これらの経験で滋賀医科大学・医学部医学科に入りたいと強く思った。

■〈看護学分野〉8月22日(水)、23日(木)

1日目 医学分野と共通
2日目 講義「科学としての看護学～看護学研究への誘い～」
臨床看護学講座 宮松直美先生



生徒の感想

○医療系の仕事に就くことは、とても大変だという事が分かった。体のつくりを覚えたり、いろいろな病気について知ったりなど難しい事がたくさんあった。講義の話の中で一番印象に残ったのは、看護師に必要なのは、相手の気持ちを考える力だという話だった。これから看護系に進むためにも、日頃から心がけていきたいと思う。

虎高一日ロースクールin金沢大学

■〈文系分野〉8月23日(木)

「ペナルティの本質ってどんなもの？」
福本知行(金沢大学法学類)
金沢法友会(法学類公認学生サークル)の学生

生徒の感想

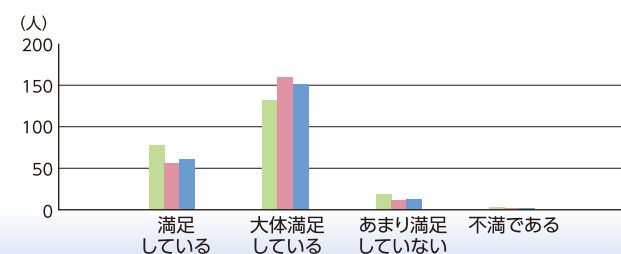
○今回の講座では、法律上の判断やペナルティというものについて、実例を交えながら大学生や虎高生と一緒に考えることができ、大変勉強になった。



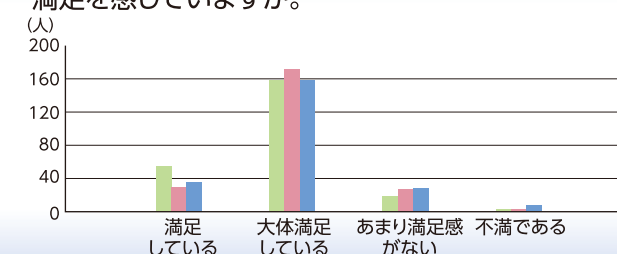
高校生活アンケート ■ 1年生(235人) ■ 2年生(231人) ■ 3年生(228人) 全体(694人)



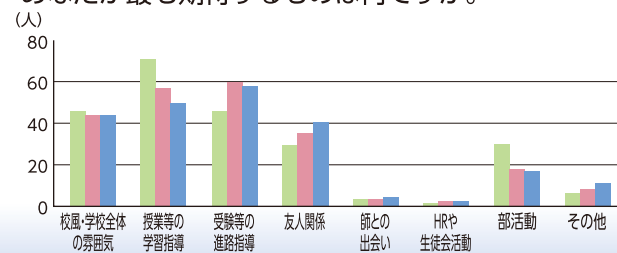
1 あなたは、本校での生活に満足していますか。



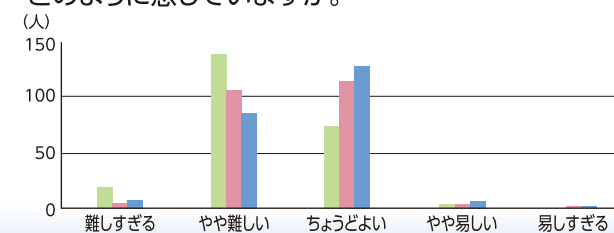
8 あなたは、本校の授業全般に関して、満足を感じていますか。



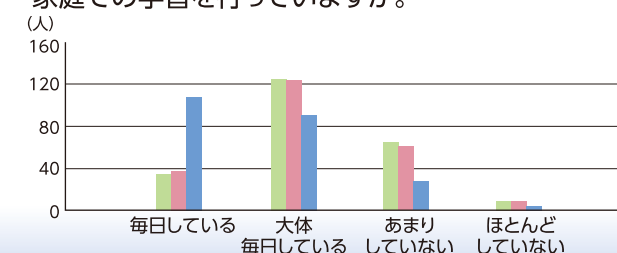
2 次にあげる、本校の教育活動や高校生活の中であなたが最も期待するものは何ですか。



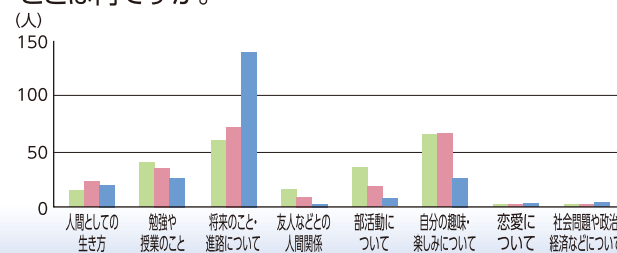
9 あなたは、本校の授業全体の難易度について、どのように感じていますか。



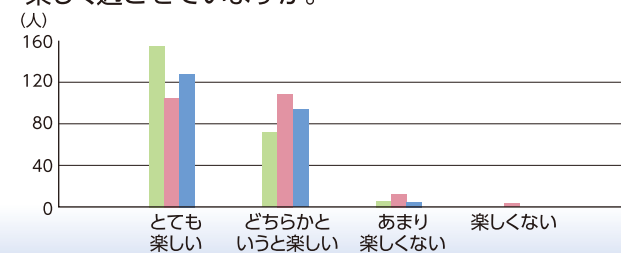
10 あなたは、予習・復習・宿題・課題・テスト準備など、家庭での学習を行っていますか。



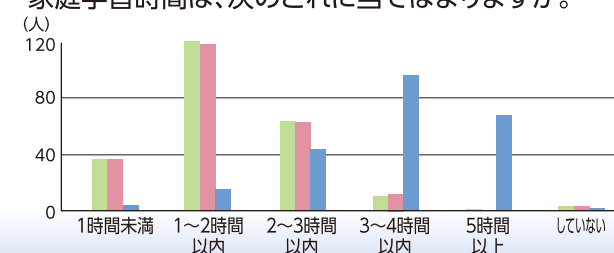
3 次の中で、あなたが現在最も関心を抱いていることは何ですか。



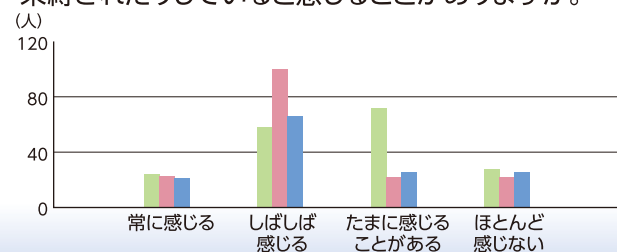
4 あなたは、自分の所属するクラスで楽しく過ごしていますか。



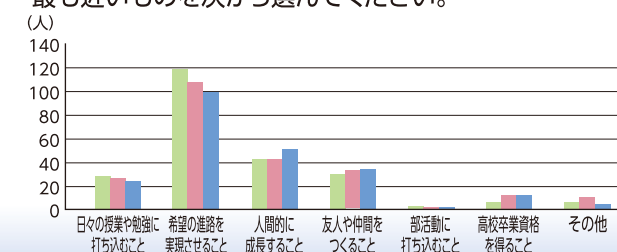
11 テスト期間以外の平日、あなたの平均的な家庭学習時間は、次のどれに当てはまりますか。



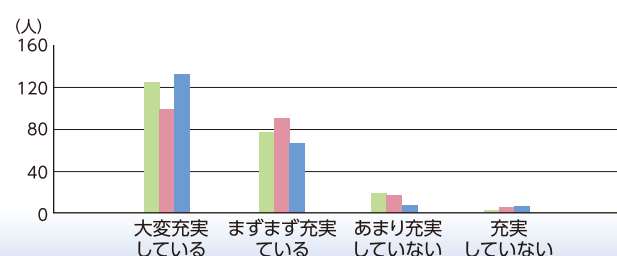
5 あなたは、携帯電話やスマートフォンに依存したり、束縛されたりしていると感じることがありますか。



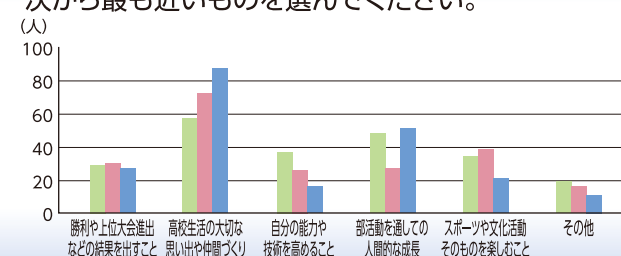
12 あなたは、高校生活の意義をどのように考えていますか。最も近いものを次から選んでください。



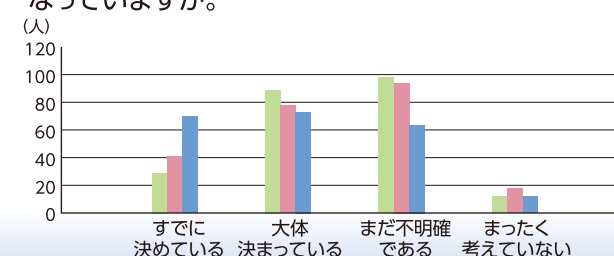
6 あなたの所属している部活動は、充実していますか。



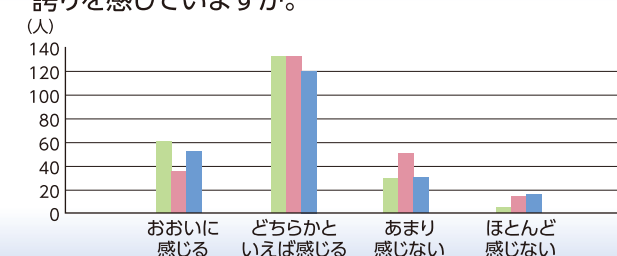
7 あなたが部活動に取り組む1番の意義は何ですか。次から最も近いものを選んでください。



13 あなたは、自分の中で、将来就きたい職業が具体的に決まっていますか。



14 あなたは、虎姫高校生であることに誇りを感じていますか。



イギリス 高校生海外体験プログラム ミシガン

この事業は、「高校生の海外生活体験および語学学校における研修を通して、豊かな語学力・コミュニケーション能力、異文化理解の精神等を身に付けた、国際的に活躍できるグローバル人材の育成を図る」ことを目的としています。

対象は県内の高校1、2年生であり、本校からは2年生の藤田希実さん、松本拓朗さん、友井陽南子さんの3名が参加しました。



藤田 希実

普段私が日本でCDなどで聞いている英語と、海外の方が話している英語はかなり違うのだなということです。ホストファミリーが私に話しかけてくれる

ときは、ゆっくり話しかけてくれたので、聞き取れたのですが、現地の方同士で話している会話はとても早くて聞き取ることが難しかったです。この経験からもっと英語をうまく話せるようになりたいなと思いました。

松本 拓朗

ホストファミリーは、自分が何かを話そうとすると、親切に聞き合ってくれて、多少文法を間違えたり、言葉が詰まっても最後まで聞き取ってくれました。スクールでも、海外の人たちは親しげに話しかけてくれ、友達になるのもかなり早く、徐々に「伝わらないかもしれない」という不安はなくなっていきました。



友井陽南子

私たちは日本にいますとき、日本は世界によく知られている国だと思っていましたが、実際海外に来てみると、日本の文化について知っている人はほとんど

いませんでした。そんな人たちにたくさん日本のお土産を渡し、日本文化を伝えました。このことが将来、日本と世界とのつながりを深め、持続可能な社会をつくる、少しでも手助けになればいいと思っています。

滋賀県の高中生をアメリカミシガン州へ派遣し、外国の学校生活を体験させ、文化、生活、習慣等を学ばせることによって、国際的視野をもった青少年を育成することを目的としています。また、滋賀県とミシガン州の高校生相互の友好と親善を促進することも大きな目的となっています。

今年は高校生20名と引率者2名がミシガン州を訪れました。本校からは、2年生の吉田真子さん、藤濱蓮華さん、1年生の齋藤夏さんの3名が参加しました。



吉田 真子

学校生活では、日本とは違い生徒が自発的に発言していたり、質問をしていて驚きました。現地の学生は、日本よりも、自分自身の考えを周りに発信していて、見習いたいと思いました。また、普段の生活の中では、ネイティブが使用している表現を学んだり、リスニング力の向上ができたのでとても良かったです。

藤濱 蓮華

はじめは話すスピードについていけなかったけど、どんどん分かるようになっていくのが楽しかったです。ホストマザーやホストシスターが英語を教えてくれて、勉強になりました。日本語を教えることもできて、とてもいい経験になりました。



齋藤 夏

ホストファミリーは休日にはいつも私をどこかへ連れて行ってくれました。私にとっては近くのスーパーでさえ、アメリカの文化が詰まっていたとても興味深いものでした。1度現地の友達と一緒にBBQをしたとき、言葉は完璧に通じ合えなくても、卓球をしたりトランプを楽しんだりすることができて、とてもいい思い出になりました。



第68回全国高等学校PTA連合会大会

8月20日(月)と21日(火)2日間にわたり、佐賀県で開催された全国高等学校PTA連合会大会に参加しました。今大会のメインテーマは「ひろめよう 高めよう 慈しむ心」、サブテーマ「君たちがつくる希望の明日を」でした。レモンさん(山本シュウ氏)の基調講演が行われました。レモンさんは、大人が一言前の昭和のチップを捨てて子供と本当のコミュニケーションを取る方法、楽しくハッピーに行うPTA改革等を熱く語ってくださり大きな感動と共感を呼びました。PTA活動に対して前向きに考えることができ貴重な機会になりました。次回は京都府で開催されます。



▲全国大会

▲近畿地区大会
(7月15日 於: 神戸国際展示場)

PTA会員研修

金沢大学見学



金沢大学について学びました。



虎高のOB・OGの方の話が聞けました。



はい!ポーズ!

21世紀美術館



現代アートに感動しました。



■10月5日(金)

7:10

虎姫高校出発

10:00~12:20

金沢大学角間キャンパス見学

13:00~14:20

ホテル日航金沢 昼食
『ザ・ガーデンハウス』

14:50~15:50

金沢21世紀美術館見学
『起点としての80年代』

18:45

虎姫高校着

ランチバイキング



参加者の感想

●台風などの荒れた天気が多かった今年の秋、会員研修当日はまずまずの天気になり無事に金沢大学などへ向かうことができました。大学の見学では虎姫高校卒業生の体験談にとても興味深く聞き入りました。受験生だった頃のそれぞれの苦労話や、つらかったことの話から子供(受験生)に対する親の接し方がとても参考になりました。

また、実際の大学を見学することにより受験生の親としてテンションが上がりました。来年の今頃、こんな立派な大学に入学していたらいいなあ、と明るい未来を勝手に想像したり・・・。

お子様の受験年には本会員研修や、オープンキャンパスなど実際の大学を目にする機会があれば参加されることを是非おすすめいたします。

●今年は台風の発生が多く、天候も気になる中での会員研修でしたが、好天となり、とても過ごしやすかったです。今回初めて参加させていただき、バス内での先生方のお話や、他の保護者の方々との交流など、終始和やかな雰囲気で見学を終えることができました。

虎高卒業生の方のお話は、子供と受験を乗り越えていくために親ができることを考えさせられました。PTA会員研修に参加することで、子供が迷った時にアドバイスをしあえられるだけの知識が得られるのではないかと思います。

ホテルのランチバイキングもとても美味しく、楽しく過ごすことができました。貴重な経験もさせていただき、本当にありがとうございました。